

都市計画道路上野西法寺線上野地区街路整備事業が『第22回全国街路事業コンクール』で特別賞を受賞！！

都市計画課

東北広域振興局土木部 二戸土木センター

県が一戸町で整備を進めてきた「都市計画道路上野西法寺線上野地区街路整備事業」が、平成22年6月15日に開催された「第46回全国街路事業促進協議会通常総会」において、『第22回全国街路事業コンクール』特別賞を受賞しました。

本地区は、馬淵川で分断された地域を連結する幹線道路として、地域住民の利便性の向上を図るため、平成13年度に事業着手し、平成21年3月6日に供用しました。今回の同コンクールでは、整備にあたって、景観ワークショップを開催し、地域住民の意向を踏まえながら、歩道のカラー舗装や電柱の色彩など、周辺地域の景観に配慮した取組みが高く評価されました。

本県の同コンクールでの特別賞の受賞は、昨年度の都市計画道路毛越寺線（平泉町）に続き2年連続となり、本県の街路整備事業が高く評価されています。



【事業の特徴】

本事業の馬淵川を渡る新しい橋の橋名は馬淵川が地元町民に親しまれてきた憩いの場所であることから公募を行いました。その結果、この地にゆかりある作家 三浦 哲郎氏の作品から「しのぶ橋」に決定しました。

橋名板は、三浦氏本人が揮毫したものです。

馬淵川にかかる「しのぶ橋」



「忍ぶ川」文学碑



全国街路事業コンクールとは？

「全国街路事業コンクール」は「全国街路事業促進協議会」が平成元年から街路整備に優れた業績をあげている地方公共団体を表彰し、望ましい街路事業の推進と整備基準及び技術水準の向上を図ることを目的として実施しています。

「全国街路事業促進協議会」：都市計画道路の速やかな整備、充実を積極的に推進することを目的として、都道府県及び区市町村を会員として昭和40年に設立された団体です。

平成21年8月1日現在の会員数は、全都道府県・政令指定都市を含め1,045団体、平成16年6月から、東京都の石原 慎太郎知事が会長に就任しています。